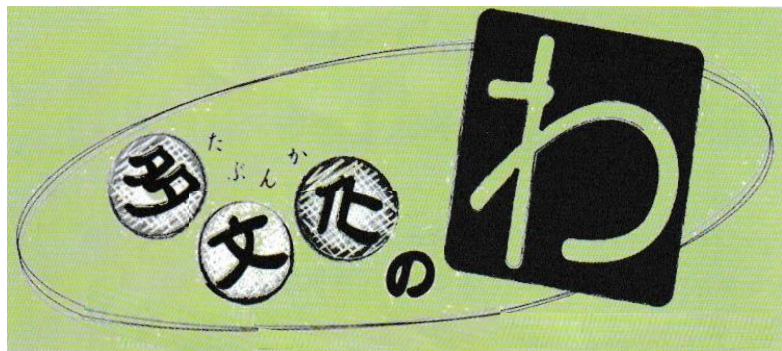


NPO法人
西東京市多文化共生センター
2022(令和4)年度
年間活動の記録



2022年度もコロナが断続的に流行し社会活動が広範にわたり制約を受けた一年でしたが、私たちは可能な限り対面による実施を目指し万全な感染対策の下、いくつかの事業を対面で実施することができました。リモート開催の利点もあるので、上手に使い分けていきたいと思えます。

この『多文化のわ』は「NPO法人 西東京市多文化共生センター（NIMIC）」の年間記録誌として再スタートして3号目となりますが、本誌を通じて私たちの活動をご理解いただき一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目 次

三つの柱	日付けは 2022年度	ページ
● 地域在住外国人の支援	通年 市の外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」の運営	2
	通年 通訳ボランティア派遣	
	通年 市報抜粋「くらしの情報」の発行	
	通年 各種資料の翻訳	
	通年 子ども日本語教室	3
	9/ 4、1/15 外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」	
● 多文化理解の促進と交流	6/11 多文化サロン「サリーさんと語るイギリスの暮らし」	4
	6/21、11/2、11/7 つながる世界プロジェクト	
	6/26 留学生ホームビジット	
	8/13 みんなでボードゲーム大会	
	10/16 西東京市日本語スピーチコンテスト2022	5
	11/13 市内歴史ウォーキングで交流会	
	11/19 多文化サロン「ソヨンさんが語る韓国・釜山の暮らし」	
11/20 多文化体験 with kids「まわしてあそぼう！世界のおもちゃ」		
3/ 4 えいごで楽しく！	6	
通年 日本語交流プログラム「Nともの会」		
● ネットフックづくり 活動の活性化	7/27、8/3 SDGsと多文化共生講座「すべての人が生きやすい社会ってどんな社会？」	
	10/30 「総合防災訓練」への参加	7
	11/12、12/3、2/18、2/25 日本語ボランティアフォローアップ講座	
	11/27 東京芸術劇場 モニターツアー	
	12/19 適応指導者・子ども日本語指導者研修	

三つの事業形態 西東京市からの受託事業 西東京市・他団体との共催事業 NIMIC独自の自主事業 の別を
本文タイトル行の右端に表示しています

【地域在住外国人の支援】

■市の外国人相談窓口「西東京市多文化共生センター」の運営

受託

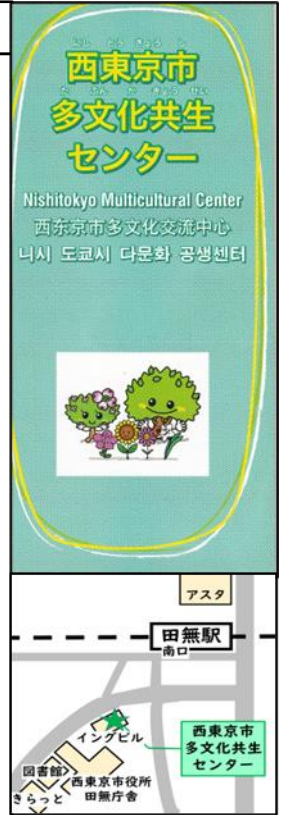
通年（土日祝 年末年始を除く）月～金曜日 10時～12時 13時～16時

西東京市が設置している、外国人市民を対象にした各種相談窓口で、NIMICが市の委託を受けて運営しています。
多言語での日常生活相談、外国人支援活動先の紹介などを行っています。
相談員が常駐して、やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語に加えて、タブレット使用で17言語で相談を受けています。

【場所】 〒188-0012 西東京市南町5-6-18 イングビル1階
（西武新宿線 田無駅 南口 徒歩約3分）
【電話・FAX】 042-461-0381

【相談実績（年間）】

- 外国人相談 22カ国、156件。
子どもの教育・進学関係、日本語教室の紹介、役所や学校からの文書の翻訳依頼など。
- 日本人相談 76件。
ボランティア活動先の紹介依頼、外国人のサポート依頼など。
その他、国際交流イベントその他多文化共生に関する情報提供や地域の多文化共生推進活動の拠点として多数利用されています。
お気軽にお立ち寄りください。



■通訳ボランティア派遣

受託

通年 登録通訳：7か国語 46名

市の行政機関・教育機関・福祉事業者等との手続き・相談・面談時に、市からの要請を受けて派遣しています。

【派遣実績（年間）】 23件。中国語、英語、やさしい日本語。
学校の先生との面談、保護者会での言語サポートなど。

■市報抜粋「くらしの情報」の発行

受託

毎月（年間12回）発行
スタッフ（総合調整/リライト：6名・翻訳：6名・編集：2名）14名

西東京市市報の中から外国人の皆さんに必要なと思われる記事を、やさしい日本語・英語・中国語・韓国語に翻訳して毎月500部作成しています。
市役所・図書館・公民館などの公共施設や市内の日本語教室で配布しています。



■各種資料の翻訳

受託

通年 登録スタッフ：3言語 22名

市から依頼された資料を翻訳します。

【受託実績（年間）】 1件。防災に関する情報の資料

■子ども日本語教室

自主

通年（学校の休み期間は除く）

小学部は 保谷第一小（火曜）、谷戸小（水曜）、向台小（木曜）で
 中学部は ひばりが丘中（木曜）で 毎週1回開催 学習時間は90分間
 在籍（月平均）小学部 子ども13名 スタッフ19名
 中学部 子ども8名 スタッフ13名



日本語が理解できないために授業についていけない子どもたちに日本語の指導をして授業を理解し学校になじむことを目的とした教室で、一人ひとりの状況に合わせた個別指導を行っています。



小学部では、日本語の学習に加えて季節の行事を共に楽しんでいます。中学部では、他教科の学習も含め高校進学をサポートもしています。

●お楽しみ会

各教室ごとに年末あるいは年始にお楽しみ会を開催します。3年ぶりに対面で実施され、身体を使ったゲーム（伝言ゲーム・ジェスチャー・ツイスターなど）をしたり歌を歌ったりして楽しみました。中学部にはYouth Clubの学生メンバーが加わってくれたので、年齢の近いお兄さんお姉さんとおしゃべりをしたり高校生活についての相談もできました。



各教室ごとに年末あるいは年始にお楽しみ会を開催します。3年ぶりに対面で実施され、身体を使ったゲーム（伝言ゲーム・ジェスチャー・ツイスターなど）をしたり歌を歌ったりして楽しみました。中学部にはYouth Clubの学生メンバーが加わってくれたので、年齢の近いお兄さんお姉さんとおしゃべりをしたり高校生活についての相談もできました。



●修了式

学校の先生・市の関係者・保護者が参列してくださりスタッフ・在籍生が皆で修了を祝いました。小・中学校卒業で修了となる子どもたちには、修了証、アルバム、花束と、参列の皆さまからのお祝いの言葉が贈られ、保護者からは感謝の言葉をいただきました。修了生の旅立ちの言葉には成長した姿に感動させられ、次のステージでの活躍を確信しました。



■外国から来た保護者のための「小学校入学前説明会」

共催

2022.9/4（1回目）参加者：5家族 いずれもオンライン開催
 2023.1/15（2回目） 4家族

日本の小学校を知らない外国から来た保護者が、安心して入学準備ができるように、学校の制度や様子、持ち物など写真を活用して紹介しました。

オンライン 外国から来た保護者のための
ONLINE 小学校入学前説明会
 Elementary school admission guidance seminar for non native Japanese speakers. 面向来自国外的父/母的中小学入学准备说明会

日本の小学校ってどんなのかな？何がいるの？必要なの？
 保育園・幼稚園とは何が違うの？
 「よくわからない」を一緒に解決しましょう。

日時：2023年1月15日（日曜日）10時～11時30分

場所：オンライン（Zoomを使います）
 参加費：無料
 対象：4月に小学校へ入学する子どもがいる保護者

申し込み方法
 ①保護者の名前（ふりがな） ②子どもが行く小学校の名前
 ③電話番号 ④一応を書いて
 nimicwith@gmail.com までメールで申し込んでください。

締め切り：2023年12月28日（木曜日）
 開催日：2023年1月15日（日曜日）
 説明会は中国語と英語でできます。
 However, Chinese and English questions are welcomed.
 説明会使用标准的日语进行说明，可以带中文和英文翻译。

お問い合わせ連絡先：生活文化センター
 月曜日～金曜日 10時～16時（12時～13時は連絡できません）
 Tel: 042-461-0381 Mail: nimicwith@gmail.com

主催：NPO法人西東京市多文化共生センター（NMIC）
 共催：西東京市（担当：生活文化センター多文化課） Tel: 042-420-2817

【多文化理解の促進と交流】

■多文化サロン「サリーさんと語るイギリスの暮らし」

共催

2022. 6/11 保谷こもればいホール(はなみずき) 参加者：15名

イギリス出身で西東京市在住のサリーさんにイギリスの生家や伝統的なお祭りのメイポールダンス、クリスマスの様子などを写真を見ながら紹介していただいたあと、参加者同士で話しあい意見を出し合いました。終始和やかな雰囲気の中、最後にコンカースという柄の実を使ったイギリスの伝統的な遊びを実際に体験して楽しみました。



■つながる世界プロジェクト

自主

2022. 6/21 栄 小学校 児童：94名 講師出身国：韓国
2022. 11/ 2 田無小学校 58名 中国
2022. 11/ 7 谷戸小学校 101名（2クラス） エジプト

昨年まで市から受託していた「世界ともだちプロジェクト」の後継として本年度から自主事業の形で始めた国際理解・交流授業です。韓国、中国、エジプト出身の講師が、自分の育った地域の生活の様子を子ども達に熱心に伝えました。子ども達の異なる言語や食文化などを知り、自分の常識との違いに驚いている姿が多数見受けられました。このような取り組みから多文化への関心が芽生え理解につながっていくと思われます。



このように取り組みから多文化への関心が芽生え理解につながっていくと思われます。



■留学生ホームビジット

共催

2022. 6/26 オンライン開催 留学生：10名 受け入れ家庭：10家庭

留学生は日本の家庭と交流が出来、受け入れ家庭は異文化を体験できる貴重な機会です。そこに多文化理解が生まれます。

Zoomでは「小部屋」に分かれて個別に交流したり、参加者全員でゲームをしたりして異文化を楽しく体験しました。

双方から「参加してよかった、楽しかった」と好評で、とくに受け入れ家庭からは「留学生が素直で一生懸命な姿に感動した」「これからいろいろな国の方と交流したい」との感想がありました。来年は、実際の訪問を実現させたいと強く思いました。



■みんなでボードゲーム大会

自主

2022. 8/13 田無公民館 参加者：3名 Youthメンバー：8名

4月に発足したばかりの若者だけのプロジェクトチーム「NIMIC Youth Club」が主催する初のイベント。

様々な文化的背景を持つYouth Clubメンバーと参加者が、人生ゲーム・ナンジャモンジャ・UNOで異文化交流を体験しました。台風やコロナの影響で参加者は3人だけでしたが、そのうち2名が後にYouth Clubメンバーに加わってくれました。



■西東京市日本語スピーチコンテスト2022

共催

2022. 10/16 コール田無 発表者：8名 観覧者：35名



3年ぶりの対面開催でしたが、コロナ禍が終息しきっていないため観覧は定員を絞り事前申込み制にするなど、多くの制約の中での開催となりました。

外国からいらしてこの地域に同じ住民として暮らす方々に、日本で生活して感じたことや考えたこと、母国への思いなどを日本語で語っていただいて、どんなことを思いどんな



経験をされているかを、みんなで共有するイベントです。市長賞・武蔵野大学学長賞・NIMIC賞が選ばれました。「慣れない日本語で一生懸命語る姿は、皆さんとても素晴らしかった。とても感動した。」という声が多く聞かれました。



も素晴らしかった。とても感動した。」という声が多く聞かれました。

■市内歴史ウォーキングで交流会

自主

2022. 11/13 参加者：14名

3年ぶりの対面での交流イベントで武蔵関公園～下野谷遺跡～東伏見稲荷神社を訪ねて、外国人参加者と日本人スタッフみんながお喋りをしながら楽しく歩きました。

解散後もしばらく参加者同士の立ち話が続くなど、交流イベントの成果をあらためて実感しました。

市の社会教育課から遺跡の説明やトートバック配布のご協力に感謝します。



■多文化サロン「ソヨンさんが語る韓国・釜山の暮らし」

共催

2022. 11/19 保谷こもれびホール(はなみずき) 参加者：18名

韓国出身で西東京市在住のソヨンさんが、チマチョゴリ姿で故郷釜山の街並みや伝統的な文化や食生活を紹介し、様々な質問にも答えていただきました。終始和やかな雰囲気の中でソヨンさんが4か月かけて作った自家製のメシル茶を皆でおいしくいただき、最後は一緒に記念撮影をするなど、大いに多文化を楽しみました。



■多文化体験 with kids「まわしてあそぼう！世界のおもちゃ」

共催

2022. 11/20 田無公民館 参加者：14名

世界各地のいろいろなコマが回る様子を見せてもらったり、保護者と子どもと一緒にコマを作って回してみたりしました。

また、二胡の演奏でトトロメドレー・パプリカなどを聞いたり中国語・英語・日本語で絵本を読んでもらうなど、いろいろな国の文化を体験することが出来ました。

コロナ禍のため3年ぶりの開催でしたが、大人も子どもも目を輝かせて回るコマに見入っていました。



多文化体験with Kids
まわして あそぼう♪ 世界のおもちゃ

子どもと保護者が一緒に、いろいろな国の文化を楽しく体験できます
◆中国の楽器・二胡の演奏を聴こう！（長者 横智氏 ほか）
◆世界の独楽を見てみよう！ まわしてあそぼう！
◆作ってみよう！いろいろな形の独楽！？！

日時：2022年11月20日(日) 午前10時～11時30分
場所：西東京市田無公民館 視聴覚室
対象：0歳から小学校低学年の子とその保護者
材料費 ひと組 200円
定員：親子5組(抽選制)
申し込み方法
①子どもの名前・年齢(年齢)
②保護者の名前
③当日連絡のつく電話番号
nomicwith@gmail.comまでメールで申し込んでください
締め切り11月10日(日)
申し込み締め切り後、抽選して結果を12日までにご連絡いたします。

問い合わせ先：西東京市多文化共生センター
月曜日～金曜日 13時～16時(12時～13時は連絡できません)
Tel: 042-461-0381 Mail: nomicwith@gmail.com
主催：NPO法人西東京市多文化共生センター(NIMIC) 協力：子どもの広場
共催：西東京市(田無・生活文化スポーツ部文化振興課) Tel: 042-420-2817

第15回多言語で楽しく企画

Let's enjoy!

えいごで楽しく!

2023年3月4日(土)

Zoom利用してオンラインで開催します。
※参加者情報(氏名)は事前に事務局へお送りください。

時間: 11:00-11:40
2:11:10-11:50

対象: 年中～小学校2年生
定員: 各回15名

参加費: 1人500円
(オンライン参加費は別途あり)
※参加費は当日事務局にお送りください。

内容: 英語によるゲームや歌

今年で15回目の開催になる
多言語交流イベントです。
奮ってご参加ください!

お申込み 2月9日(木)までにご申込みを「えいごで楽しく」として、
①お子さんの氏名(ふりがな)とローマ字表記
②学年 ③保護者の氏名(ふりがな) ④住所 ⑤電話番号
を参加する回の第一番線(第二番線を記入の上、
bank@city.nishitokyo.lg.jpへ送付してください。

問合せ: 西東京市 生活文化スポーツ文化振興課
TEL 042-420-2817
主催: NPO法人 西東京市多文化共生センター
「第15回 多言語で楽しく企画」
共催: 西東京市

■えいごで楽しく!

共催

2023.3/4 オンライン開催 年中から低学年までの13名が参加

2名の講師が4回のレッスンをしてくださいました。スライドを使ってゲーム感覚で楽しく英語を学びました。楽しそうな子供たちの笑顔が画面越しでもたくさん見られました。来年こそ対面で開催したいです。



■日本語交流プログラム「Nともの会」

自主

通年 年度末時点で14組が活動中(他に 日本人Nとも3名待機中)
2023.3/13(全体交流会) 田無公民館 参加者:13名

日本人と外国人のペアで活動する「Nともの会」は原則月2回、ペア同士が活動内容を決めて交流します。市庁舎や公民館のロビーで近所の飲食店の話や出身地についておしゃべりをするペアもあります。

【外国人Nともの出身国・地域】カナダ、フィリピン、ガーナ、台湾、中国、ミャンマー、ネパール、ロシア。

【のべ活動回数(年間)】148回



全体交流会では自己紹介、事務局からの活動報告の後、小グループで自分のふるさとのいいところを紹介し合いました。「色々な国・地域の出身の人の話を聞くことができるととても楽しかった。」との感想がありました。

西東京市の外国人のみならず
NPO法人 西東京市多文化共生センター
NIMIC日本語交流プログラム2021

ひと Nともの会 N-Friends Club

にほんごでお話しませんか?

メンバーを募集します

たとえば、こう話してみませんか?
● 近くに住む人の名前を知りたい。
● 子どもが学校から帰ってくる準備、いっしょに読んでくれる日本人がいればうれしいです。
● 日本のお話や文化が知りたい、習字がほしいです。
● 日本料理を食べたい、文芸イベントや講座、どこかへ旅行したいです。
● 日本のお話、日本について話したい、どんなお話が聞きたいですか?
● 日本のお話、日本について話したい、どんなお話が聞きたいですか?
● 日本のお話、日本について話したい、どんなお話が聞きたいですか?

まずは申し込みをください

活動がスタートして、NPO法人 西東京市多文化共生センターへ申し込みください。
メールのときは、「Nともの会(日本語)」の申し込み用紙(お名前と電話番号を記入)を添付していただき、コーディネーターが連絡いたします。にほんごパートナー(Nとも)を紹介いたします。
【Nとも】と一緒に、1か月に2回(月に1回)にわたって交流をします。
※西東京市に在住しているか、西東京市で仕事をしているか、西東京市の活動に参加できるかを確認させていただきます。

問合せ: NPO法人 西東京市多文化共生センター (NIMIC)
電話: 042-420-2817
E-Mail: n-friends@nimic.jp / 090-4770-0954 (携帯)
http://www.nimic.jp / 〇〇〇-4770-0954 (携帯)

【活動の活性化・ネットワーク作り】

■SDGsと多文化共生講座

「すべての人が生きやすい社会ってどんな社会？」

共催

2022.7/27、8/3 保谷こもればいホール(はなみずき) 参加者:13名

早稲田大の近藤牧子先生を講師に迎え「多文化共生」の視点からエコロジーやごみ削減だけではなくSDGsについて学びました。

中国や台湾、韓国出身の方も一緒に一人ひとりにとっての豊かさは多様であること、考えの違う人同士が受け入れ合うということについて話し合い、それぞれが新しい視点から社会を見るという体験をしました。



SDGsと多文化共生

すべての人が
生きやすい社会って
どんな社会?

～わたしたちが暮らす社会の
多様性について考える～

わたしたちの社会では、国籍や年齢、ジェンダー、年齢などの観点から、多様な人々が生活しています。その多様な社会での暮らしを快適に過ごすためには、それぞれが持っている文化や価値観を互いに認め合う多文化共生の考え方を、SDGsを様々な観点から理解し、目標達成のために活用できるかを考えます。

7月27日・8月3日
水曜日 PM3時～PM5時 金2日

場所: 保谷こもればいホール 3階 多言語講座
対象: 西東京市またはその周辺に在住・在学(年14歳以上)50歳以下
定員: 2人(定員) 費用: 無料 持ち物: 筆記用具、筆記帳
申込: 7月25日(月)17時までにEメール(n-friends@nimic.jp)へ
または事務局(保谷こもればいホール)まで
042-420-2817(事務局) 090-4770-0954(携帯) 〇〇〇-4770-0954(携帯)
申し込み・キャンセル料: 無料
お問い合わせ: 事務局 TEL:042-421-1918(平日)

講師: 近藤 牧子
早稲田大学文学部国際文化学専攻 教授

主催: 西東京市多文化共生センター (NIMIC)

■「総合防災訓練」への参加

自主

2022.10/30 都立東伏見公園 ブース来訪者：108名

外国人に向けた防災情報発信のため西東京市の総合防災訓練に参加しました。防災のためのピクトグラムや「やさしい日本語」を学び防災クイズを楽しみました。
スタッフが外国人をNTTブースに案内して171（安否確認）のかけ方体験をしてもらうなど体験型プログラムはどれも好評でした。



■日本語ボランティアフォローアップ講座

受託

2022.11/12、12/3、2023.2/18、2/25 の4回 オンライン 参加者：のべ68名

日本語ボランティア教室で活動中のボランティアを対象とした研修講座です。前半の2回は成人向けの日本語教室、後半の2回は子ども日本語教室のボランティア向けです。各回のテーマ

- 第1回： 地域ボランティア教室におけるオンライン活動と著作権
- 第2回： 地域日本語教室における無料ICT教材「つながるひろがる にほんごでのくらし」の活用
- 第3回： 外国につながる子どもと楽しく学習するコツ「文字・語彙の学習」
- 第4回： 同「教科学習に必要な日本語の支援」

前半の受講者からは「これから活動を続けていく中でのポイントになる言葉がたくさんあり、少しずつ自分の中に落とし込めるように進めていきたい」などの感想がありました。後半の参加者には、外国につながる子どもの気持ちに寄り添ってどのように指導するのか、たくさんの気づきがありました。

昨年2021年度の日本語適応指導			
児童生徒	小学生 17人	中学生 3人	計 20人
学校	小学校 11校 (全18校中)	中学校 2校 (全9校中)	計 13校 (全27校中)
国別	中国(12)	アメリカ(4)	フィリピン(3)
	バングラディッシュ(1)		
指導員	12人 子ども日本語教室スタッフ11人 中国語の母語話者1人		

今年2022年度の日本語適応指導
現在23人の児童生徒が、指導を受けています。



■東京芸術劇場 モニターツアー<やさしい日本語版>

自主

2022.11/27 東京芸術劇場 参加者：8名

参加者は、引率の理事3名とともに劇場外周の彫刻や内部の絵画、そしてパイプオルガンについて説明を受けた後、コンサートホールに入り客席で調律中のピアノの音を聞きながら音の響き方を教えていただきました。屋上に出ると晴天の下に富士山が見え、思わず歓声が上がりました。劇場の説明は、やさしい日本語でフリップにも工夫がされていて、とても分かりやすかったと好評でした。



■適応指導者・子ども日本語指導者研修

自主

2022.12/19 田無庁舎内会議室 参加者：13名

適応指導者は、教育委員会から派遣され市内の小中学校で外国につながる子どもたちが日本語で学校生活を送り日本語で学習できるよう個別に支援しています。
ふだんは個々に指導に当たっていますが、日頃の悩み・教材やテキストの工夫・保護者や担任との関係など様々な話題で情報交換をして、みんなで力を合わせてやっていこうと確認出来た研修でした。

※ NPO法人 西東京市多文化共生センター（NIMIC）は、

「ともに住み、ともに生きる」をキャッチフレーズに、異なる背景を持つ人々が、互いの違いを理解し尊重し合って、ともに地域で暮らす「多文化共生」のまちづくりを目指しています。

「外国人にとって住みやすいまち、みんなが住みやすいまち」と考え、外国人支援、交流の場づくり、受け入れる地域社会の啓発活動を行っています。

■ 詳しくは、
ホームページで



NIMIC の会員 になりませんか？

多文化共生活動に取り組んでみたいと思われる方、ぜひ私たちと共に考え、行動してみませんか。あなたのご参加をお待ちしています。

○会員になると

- ・各種イベントに実行委員として参加できます
- ・興味ある活動、新しい活動を始めることが出来ます（理事会承認が必要）
- ・メールマガジン「NIMIC通信」、年間活動記録誌「多文化のわ」を受け取ることが出来ます

何より 楽しい仲間・親しい友人が増えます！ 世界が広がります！

○会員になるには、「入会申し込み」と「年会費の納入」が必要です。

「入会申し込み」は ホームページから、または西東京市多文化共生センターまで。

「年会費の納入」は ホームページから、または新規入会者宛て個別にご連絡します。

【年会費】 個人会員 2,000円、学生会員 1,000円、家族会員 3,000円。

★学生主体のチーム「NIMIC Youth Club」や、

主に土・日・祝日に活動するチーム「土日プロジェクト」があります。

イベント開催当日だけの「当日ボランティア」参加も可能です。

詳しくは、ホームページからお問い合わせください。

● SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

NIMICは、活動理念に基づき、行政や他団体とのパートナーシップを通じて、地域における外国人生活支援など、異なる文化的背景を持つ人々誰もが、共に地域で快適に暮らせる「多文化共生社会」の実現により、持続可能な開発目標(SDGs)3、4、5、10、11、16、17の達成に貢献することを目指します。



※ 会員にならなくても、メールマガジン

「NIMIC通信」の配信を受け、タイムリーなイベント情報等を得ることが出来ます。右のQRコードから、お申込みいただけます。



年間活動記録誌「多文化のわ」2022年度版
2023（令和5）年 11月 1日発行

編集・発行

NPO法人 西東京市多文化共生センター
〒188-0012

西東京市南町5-6-18 イングビル1F

E-mail : info@nimic.jp

ホームページ : <https://www.nimic.jp/>

Facebook : www.facebook.com/nimic.nishitokyo

